



## カンボジアの子どもたちに教科書を

ニュースレター 69号

これまでの活動の成果の振り返り第七回（最終回）

2019年11月

代表理事 江本哲也

日韓アジア基金も皆様の温かいご支援のおかげをもちまして、発足以来、今年で17年となりました。

ここで、この間の活動の成果を振り返り、今後の会の発展の糧としたいと思います。今後ともご支援よろしくお祈りいたします。

### 10年間の不足教科書の補てん支援活動のまとめ

当会の不足教科書の補てん支援は、2009年にルセイサン小学校・ワットハー小学校の二校に対してクメール語・算数・社会・生物の全4教科を支給したのが始まりでした。その結果は素晴らしいもので、下記の成果が上がりました。

- ・生徒の授業中の集中力向上
- ・授業時間の効率向上(板書が減る)
- ・全員が宿題をやって来る。(全員が教科書を持っているので家で宿題が出来る)
- ・授業が分かるので子どもが、学校が好きになる。

この結果、出席率が上がった。

その後周辺の小学校がこれを聞きつけ、支給対象校も10校に広がり、これまで10年間にわたって行ってきました。

近年カンボジアの経済も発展し、教科書も自前で調達できるようになってきているようです。ここで過去の10年間の実績をまとめ、一区切りとし、今後不足教科書の補てん支援活動どうするか検討していきたいと考えています。

～目次～	
活動の振り返り	1, 2 頁
カンボジア便り	2, 3 頁
グローバルフェスタ	4, 5 頁
・事務局より	6, 7 頁
事務連絡	8 頁



## 10年間の不足教科書の補てん支援活動のまとめ

	年	支給月	教科書冊数	金額(ドル)
第1回	2009年	10月	1,400	1,000
第2回	2010年	10月	5,200	4,400
	2011年	東日本大震災のため翌年の2月に行われた。		
第3回	2012年	2月	3,900	3,660
第4回	2012年	10月	3,900	3,850
第5回	2013年	10月	3,873	3,569
第6回	2014年	10月	4,263	4,789
第7回	2015年	10月	1,338	2,144
第8回	2016年	10月	1,359	2,260
第9回	2017年	10月	1,550	2,567
第10回	2018年	10月	1,691	2,958
	合計		28,474	28,937

10年間の配布した教科書冊数は28,474冊、金額で28,937ドル（1ドル平均108円とすると約3,125,000円）1年間では312,500円となります。

配布した学校名と各学年の配布状況の一例は下表の通りです

2016-2017年度 教科書配布数								
学校名	生徒数	配布した教科書数						合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
1 Preysar	504	35	41	23	22	33	29	183
2 Rakarkor	332	49	40	14	12	18	16	149
3 Trapaingsala	1387	40	48	34	40	20	22	204
4 Preyeng	440	15	30	20	20	30	15	130
5 Toulsumbo		0	0	0	0	0	0	0
6 Kraingpongro	435	30	30	25	35	30	30	180
7 Saksampov	188	35	27	24	21	16	7	130
8 Watkdo	162	24	21	9	10	7	6	77
9 Prekchrey	155	11	11	23	8	8	7	68
10 RS school	235	11	4	13	7	5	17	57
11 WS school	414	35	42	30	35	25	14	181
合計	4252	285	294	215	210	192	163	1359

## カンボジア便り

～来年からの教育支援活動について～

丸山芳彦

8月に、現地職員リティさんから『カンボジア政府が次年度（本年11月）から不足している教科書をきちんと補填するらしい』との情報が入りました。リティさんと我々は半信半疑で状況を見守ってきましたが、9月になりカンボジア政府の不足分教科

書の補填はどうやら本当に行われることが明らかになり、突然ではあります、今年から教科書支援は不要になりました。

やっと本来あるべき姿になった訳で、とても喜ばしい事だと思います。これまで10年に渡り我々が支援してきた11の小学校からは感謝の言葉をいただいております。ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。

江本代表理事の『活動振り返り』に記述されていますように、日韓アジア基金のカンボジアへの教育支援は活動内容を変えながらいくつかの節目を乗り越えてきました。来年はその節目の年になります。

この2か月間、これからの教育支援活動についてリティさんと議論してきました。その結果、差し当たって次の2つの活動を行うことにしました。

## **1. 当会の支援する非正規識字学校の環境改善、教材等の充実**

・いろいろな理由で正規の小学校に通えない子供達のために、先生2人を雇い、識字学校を運営しています。非正規とは言え、一定の学力に達していることが認められれば中学に進学でき、毎年数名の児童が中学に進学しています。もっと多くの児童が中学に進めるように支援活動を強化していく所存です。

## **2. 『Drinking Friends' Fund』への積極介入**

・ニューズレターでも数回紹介してきましたが、これはリティさんが行っている活動です。識字学校卒業生で優秀な学力がありながら経済的な理由で中学進学が困難な子供への支援を行っています。酒飲み友達や会社の同僚からの寄付が資金源ですが、不足分はリティさんの持ち出しになっているようです。現在、2人の中学生を支援していますが、もっと多くの優秀な子供達に中学教育の機会を与えたいと思っています。

上記以外では、『小学校の女子トイレの改善』が議論されました。小学校の女子トイレの多くはとても汚くて、トイレを使うことがいやで学校に来なくなる子供がいるそうで日本ではとても想像もできないことです。残念ながらこの件は我々の出せる資金ではとても不十分であることが判り断念しました。カンボジア政府に委ねたいと思います。

我々は来年、上記1, 2の活動を具体化してまいります。またカンボジアを訪問し子供達の実状をしっかりと把握し、より効果のある教育支援を模索していくつもりです。

来年から我々のカンボジア教育支援の内容は変わってしまいましたが、カンボジアの教育環境は依然として改善の余地が多いと言わざるを得ない状況です。今後も皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

## グローバルフェスタ2019に参加して

伊藤 晋

自修館中等教育学校の伊藤と申します。本校では、生徒たちが「JIC(自修館インターアクトクラブ)」という国際奉仕活動の団体を作り上げ、運営しております。日韓アジア基金とはご縁があり、不定期ではありますが色々と教えて頂きながら、NL 配送などコラボレーション企画を行わせて頂いています。わずかながらでもお力添えができますよう生徒ともども頑張っまいますので、引き続きよろしくお願ひ致します。

今回は令和元年9月28日(土)、29日(日)にお台場のセンタープロムナードで開催されました「グローバルフェスタ JAPAN2019」についてご報告をさせていただきます。今年で29回目を迎えるこのイベントは、国際協力の現状や必要性、政府とNGOの協力などについての理解と認識を深めるとともに、国際協力をより身近なものに感じてもらい、参加を促進することを目的としているものです。毎年「国際協力の日(10月6日)」を記念し開催されている国内最大級の国際協力イベントで、今年は250以上の国際協力団体が参加し、2日間で約183,743人の来場者がありました。日韓アジア基金も2004年からこのイベントに毎年参加しているとのことで、今年で16回目の参加となりました。

日韓アジア基金も会場にブースを設置し、「活動説明」と「寄付のご案内」をさせていただきます。今年は特に日韓関係が政治的には良くない状況ではありましたが、「日韓アジア基金」という団体名での活動には、多少なりとも支障があるかという懸念もありましたが、実際には日本の方、韓国の方、どちらにも興味を持って頂き、熱心に話を聞いてくださる方々がたくさんいらっしゃるといふ状況がありました。特に「カンボジアに教科書を」といふ募金の趣旨そのものに興味を持ってくださる方が多く、「そうですね」と話を聞き、納得した上で募金をしてくださる方が多かつたように思ひます。

自修館インターアクトクラブでは、少しでも会のサポートを、といふことで29日(日)に12名が参加、お手伝いをさせていただきます。日曜日のみで12名のお手伝いではかえってご迷惑をおかけすると思ひ、3名ずつの4グループで1時間ずつの活動をさせていただきます。会の説明についてはいい加減なことは言えませんが、到着後はパンフレットに目を通し、活動を復習することから始めました。ブースにあまり人数がいても説明が難しいといふことで、会場内をパンフレットと募金箱をもって練り歩きながら、「カンボジアに教科書を」といふ声をかけながら募金を集めるお手伝いもさせていただきます。また、時間帯によってはブースの前に立ち、同様の声掛けと募金集めもしています。学生が立っている、といふだけで興味を示してくださる方もおり、そこからブースでお話を聞いてくださり募金に至るケースもありました。たいした説明はできていないと思ひますが、少しはお役に立ってたのではないかと生徒たちも喜んでいました。以下は生徒の感想です。

グローバルフェスタでは、どこのブースへ行っても初めて聞く単語ばかりで戸惑うこともありましたが、どのブースでも活動内容を丁寧に説明してくださったので、とてもありがたいと思いました。自分たちが行っている国際協力やそのテーマ、実際にボランティアをしに海外へ行ったときの感想などを話してくださったので、諸問題に対して真剣に考え、全力で取り組んでいるのが伝わってきました。今回は JIC 代表である加藤さんが率先して国連大使としての活動や、日韓アジア基金の説明をしたり、さらには質問に答えたりといったことをしていました。来年も参加できるなら、私も加藤さんのように自分で何でも説明できるようになりたいと思いました。次回のグローバルフェスタに向けて、これからも様々な活動を頑張っていきたいと思います。この度はこのようなイベントに参加させて頂き、誠にありがとうございました。

恒松紗英（自修館中等教育学校 中3）

今回もご迷惑をたくさんおかけしたと思っておりますが、日韓アジア基金の皆様のご協力のもと、会にとっても、子供たちにとっても良い機会だったのではないかと感じることができました。ありがとうございました。生徒の感想にもあるように、来年度もまた一緒に活動できたら、と願っております。



皆さま、いつも暖かいご支援をありがとうございます。事務局長の長内麻誉です。自修館中等教育学校の伊藤先生からもグローバルフェスタのお話をいただきましたが、私からは会の活動としてのご報告をさせていただきます。

去年は台風で1日日程が中止となったグローバルフェスタですが、今年は晴天の中スタートいたしました。日差しも大変強く、スタッフ・ボランティアさん共々体調を崩さないか心配しましたが、元気に終えることが出来ました。

また、今年は新しいことにいくつか挑戦しました。まず、普段支援をしてくださっている方や、以前会の活動をされていた方など、嬉しい方にたくさんお会いすることが出来ました。このような機会があると本当にパワーが出て、これからもっと頑張ろうと気合いが入ります。お会いできたみなさま本当にありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

そして、伊藤先生の記事の通り、中学生がたくさん参加してくれました。自修館の生徒さんたちの他にも、2日間ボランティアとして参加してくれた中学1年生の生徒さんもいました。ボランティア活動を自分からするだなんて私が中学生の時は思いつきませんでしたので、最近の学生さんは素晴らしいなと感心しっぱなしでした。

他には、私たちと同じようにカンボジアの支援を行なっている団体と情報交換・意見交換などをスタッフ各自が様々なブースに足を運び行いました。また、他の団体も我々と同様に同じような活動をしている団体と情報交換したいところが多かったようで、当会のブースに足を運んでくれた団体もたくさんありました。ここで得た情報や、生まれたアイデアを踏まえ、現在ミーティングの際にはスタッフ同士で、更に良い活動するための話し合いを重ねております。

そして、今回は、伊藤先生も少し触れたように日韓関係が悪い方向に進んでいる中でのグローバルフェスタへの参加でした。正直、私たちのことを良く思わない人たちがいて、何か嫌な思いをすることがあるのではないかと心配する気持ちもありました。しかし終わってみると、2日間を通して嫌な思いをすることは1度もなかったです。むしろ応援してくださったり、活動を褒めてくださる方がとても多かったことに驚きました。みなさま、カンボジアの子供たちを支援する活動を通して日韓の仲を深めたいという考えに賛同してくださいました。このように、来場の皆様が私たちの活動を政治と切り離して考えてくれていたことが心から嬉しかったです。改めて、私たちがこうして活動することが出来るのは、日韓の仲をより深め、カンボジアの子どもたちに手を差し伸べたいと、会の活動を支援してくださるみなさまのお陰であることを強く感じました。重ねてお礼申し上げます。平素ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。私たち

スタッフは行動により更に良い結果をお届けできるように、より一層活動に励んで行か



ねばならないと言う気持ちが強くなりました。

お陰様で、2日間で4万円を超える募金を集めることが出来ました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

追記(この場を借りてメッセージを送らせていただきます)：

ご支援者の井上様。グローバルフェスタの際はお会い出来て大変嬉しかったです。足をお運びいただきありがとうございました。あその後一緒に撮った写真をウさんに送ったところ、「鮮明に覚えています。久しぶりにお顔が見れて嬉しいです。今もこうしてご協力いただき本当にありがとうございます。」と伝言を預かっております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆ 当会イベントにボランティアスタッフとして参加くださった方（敬称略・順不同）

・2019年9月28日29日 グローバルフェスタ JAPAN2019

中野祐里・雨宮空賀・柳瀬茂寿・岡村凜太郎・自修館中等教育学校の皆さん・水谷充徳・ジョンヨハン・柳明姫・若松晴美・丸山芳彦・齊藤乃章

・2019年10月26日 ABK秋祭り

柳瀬茂寿・竹内みゆき他茶道会メンバーの方々・水谷充徳・長内麻誉・柳明姫・齊藤乃章

◆ 2019年7月22日～10月13日に会費・ご寄付を下さった方（敬称略・順不同）

下村紀雄	キノ ノブヒロ	田中清隆	千葉まゆみ	水谷充徳	広瀬隆利
吉村悦子	高橋周孝	菊池貞子	山本トシミ	米村典子	丸山芳彦
福島悟					

今後のイベント開催、参加予定  
（ボランティア募集あります、詳細は下記までお問い合わせ下さい）

・2020年1月 ニュースレター70号発行作業（於 自修館中等教育学校）

ご入会・ご寄付のお願い

◆ ご入金・ご寄付のお願い

活動会員：年会費 5,000 円（学生・未成年 2,000 円）

賛助会員：年会費 5,000 円（学生・未成年 2,000 円）

法人会員：年会費 100,000 円

ご寄付： 2,000 円以上 おいくらでも

郵便振替口座

支店名 ○一九(セロイキユウ)店  
口座番号 当座 00180-2-25153  
口座名義 日韓アジア基金  
(カタカナ表記 ニツカンアジアキョ)

活動会員：活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権がございます。

賛助会員：定期的にご支援頂ける方。

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

＜お問合せ先＞（日本語でお願いします）

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13

アジア文化会館（A B K）内

Tel：090-5812-1471（庶務・会計担当 齊藤）

FAX：03-3946-7599（A B K）

E-メール：nikka17@iloveasia2.sakura.ne.jp

HP：<http://www.iloveasiafund.com>

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也